

施政方針説明要旨

3月定例会

平成29年（2017年）2月24日

3月定例会に平成28年度補正予算案及び平成29年度予算案並びにこれに関連する諸議案を提出し、ご審議をいただくにあたり、その提案理由並びに市政運営に対します私の所信を申し述べたいと存じます。

昨年、本市は、市制施行80周年でございました。待望の文化芸術センターも開設し、議会をはじめ市民のみなさんのご協力のもと、80周年を祝う記念式典を開催いたしました。式典においては、映画監督で脚本家の山田洋次さんに名誉市民の称号を贈呈したほか、記念事業においては、西村由紀江さんや矢井田瞳さんなどのすばらしい演奏を聴かせていただきました。そして何より、大変多くの方々と80周年を祝うことができました。この場をお借りして、ご協力いただいたすべての方々に感謝を申し上げます。

今後、本市周辺では、交通網の整備をはじめとした様々な動きがございます。身近なところでは、4年後の開業をめざして、北大阪急行電鉄株式会社が（仮称）新箕面駅への延伸に取り組まれており、先月、その起工式がございました。このほか、来年度には、新名神高速道路の高槻、神戸間の開通が、12年後

には、大阪モノレールの東大阪市への延伸が予定されております。

また、大阪国際空港においては、ターミナルビルの改修が進められているとともに、昨年4月から、関西エアポート株式会社による関西国際空港との一体運営が開始され、今後、新たな人や物の流れがうまれることが期待されます。さらに、2年後、アジア初のラグビーワールドカップが日本で開催され、関西では、神戸市御崎公園球技場と東大阪市花園ラグビー場が会場に選ばれております。世界最大級のスポーツイベントは、関西圏における経済効果のみならず、本市においても、国際交流や文化・スポーツ活動の活性化をもたらすことが予想されます。

本市は、これまでの間、北部大阪の都市拠点として魅力あるまちづくりをめざし、「千里中央地区活性化ビジョン」の策定とその実現にむけた取組みを推進したほか、大阪国際空港においては、空港就航都市との連携によるイベントの開催、南部地域においては、「魅力ある学校」づくりや（仮称）南部コラボセンターの整備検討など、各地域においてその活性化をはかる取組みを進めてまいりました。

特に南部地域は、市内の他の地域に比べて人口減少が進むなど、さまざまな課題を抱えていることから、「南部地域活性化構

想」を策定し、人口の増加やにぎわいの創出を図ることで、市全体の活性化・発展につなげてまいります。

また、来年度は、本市の核となる新たな「総合計画」や「都市計画マスタープラン」も策定いたします。

私は、今後も、広域的なまちづくりの動きを見据えつつ、子どもから大人まで、市民のみなさんが活躍できる、豊中市の明るい将来像の実現にむけて取組みを進めてまいります。

さて、国におきましては、一億総活躍社会の実現にむけて、「経済再生と財政健全化」を両立する中で「成長と分配の好循環」を確立するとし、過去最大規模となる平成29年度予算案が、現在、審議されているところであります。また、地方財政計画におきましては、前年度に比べ、0.4兆円増となる一般財源総額を確保したとされております。

次に、本市の財政状況でございますが、一般会計の平成27年度決算は黒字決算を維持するとともに、市債の発行抑制や財政調整基金への積立など、資産・負債のバランスを勘案した取組みを進めており、各種財政指標も改善しております。

しかしながら、今後も見込まれる社会保障関係経費の増大や市有施設の老朽化対策など、中長期的に増大する財政需要や多

様化する市民ニーズに対応するため、引き続き持続可能な財政基盤の構築にむけた「未来志向型」の改革を進めてまいります。

以上、本市を取り巻く社会経済情勢について申し述べました。それでは、平成29年度の市政運営の基本的な考え方について、基本政策の3つのプロジェクトにそって申し上げます。

最初に、「豊中っ子 健やか育みプロジェクト」であります。

待機児童解消については、平成27年度からプロジェクト・チームを立上げ、関西初となる公園での保育所整備など、多様な手法により取組みを進めており、平成30年度当初には、およそ2,000人の定員枠が確保できる見込みです。引き続き、保育ニーズを的確に把握するとともに、安心して子育てができる環境整備に取り組めます。

また、産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図る観点から、健診等により産後初期段階における母子に対する支援の強化を図るとともに、子ども医療費助成の対象を中学3年生まで拡大するなど、医療面からの子育て支援を充実します。

さらには、中学校の全普通教室および少人数教室に大型モニターを設置し、教育環境の充実を図ります。

次に、「魅力・にぎわい・定住 ブランド向上プロジェクト」

であります。

就航先都市の長野県松本市と連携し、世界的な指揮者、小澤^{せいじ}征爾さん監修の「セイジ・オザワ松本フェスティバル」のスクリーンコンサートを開催するなど、“音楽あふれるまち豊中”の推進を図ります。

また、市内外への魅力発信と良好な景観まちづくりにつなげるため、民間情報誌とのタイアップによる観光マップの作成や「とよなか百景」のリニューアルを行うとともに、「歩いて楽しいみちづくり計画」に基づき歩行者ネットワークを整備します。

さらに、地域産業の活性化のため、産官学の連携や相談体制の強化など、市内事業所の強みを活かす取組みを進めます。

最後に、「改革エンジン パワーアッププロジェクト」であります。

老朽化が進む施設の効果的・効率的な建替え、改修を見据えた再編を行うため、「公共施設等総合管理計画」に基づき、施設の種類ごとに「施設再編方針」を策定します。

また、人口減少・少子高齢化に対応し、現在のコンパクトな都市構造を維持、強化していくため、「立地適正化計画」の策定に取り組むとともに、交通体系の充実を図るため、「公共交

通改善計画」の策定に取り組みます。

本日、ご提案させていただきます平成29年度予算案につきましては、

1. 「子育て・子育て支援の充実と魅力ある学校づくり」
2. 「南部地域をはじめとした地域拠点の再生」
3. 「持続可能な行財政運営の推進」

の3点を重点に、予算編成を行いました。

この結果、平成29年度の予算規模は、

一般会計	1千446億9千345万6千円
特別会計	945億3千604万円
病院事業会計	218億 132万1千円
水道事業会計	114億4千226万5千円
公共下水道事業会計	193億7千296万1千円
合計	2千918億4千604万3千円

で、全会計では、前年度予算と比べまして0.6%の減、一般会計では前年度に比べ3.4%の減となっているものでございます。

それでは、基本政策にそって、主な内容につきまして順次
ご説明申し上げます。

〔育ちと学びを大切にすまち〕

子育て・子育て支援施策につきましては、児童発達支援センターの開設準備やこども総合相談窓口の夜間・休日対応、児童養護施設の開設、庄内駅前における一時保育事業など、支援体制の充実を図ります。

また、産後初期段階の母子への支援を強化するため、産婦健康診査の費用を助成するとともに、宿泊型及びデイサービス型の産後ケア事業を実施します。

学校教育につきましては、全国のモデルとなる「魅力ある学校」づくりとして、市民の理解と協力のもと、まずは、庄内小学校の敷地における施設一体型小中一貫校の創設をめざし、計画の策定に取り組みます。

「（仮称）新・第2学校給食センター」につきましては、建設工事を進め、一日も早い供用開始をめざします。

地域の課題解決を実践する人材の育成に取り組むため、「とよなか地域創生塾」を開講します。

図書館の広域利用につきましては、連携する自治体を北摂全域に拡げます。

庄内温水プール跡地につきましては、テニスコートの整備などを行います。

また、ニノ切温水プールにつきましては、建て替えにむけた設計を行います。

さらに、豊島体育館につきましては、空調設備導入などにかかる工事を行います。

学校施設につきましては、第四中学校において改築工事を、島田小学校において仮設校舎を整備し、その結果、平成29年度末の学校施設の耐震化率は100%となる見込みです。

若者支援につきましては、「若者自立支援計画」を策定し、関係機関で構成する協議会を軸としたネットワークによる支援に取り組みます。

〔にぎわいと活気にみちたまち〕

都市計画につきましては、個性豊かで魅力的なまちづくりの実現を図るため、新たな「都市計画マスタープラン」を策定します。

また、「自転車通行空間ネットワーク計画」を策定し、安全・快適に利用できる道路環境を創出します。

さらに、事業者が実施するバスロケーションシステム導入事業に対し、経費の一部を補助し、利便性の向上を図ります。

住環境につきましては、良質な住宅ストックの形成を図るた

め、引き続き、空き家の利活用を図るとともに、周辺の住環境に悪影響を及ぼしている空き家については、法令に基づく指導等に取り組みます。

また、岡町北住宅の建替えにむけて、基本計画の作成、敷地測量を実施します。

千里中央地区につきましては、駅前広場の再整備等の検討を進めるとともに、大規模地震時における安全確保を図るため、「都市再生安全確保計画」を策定します。

大阪国際空港につきましては、安全と環境に配慮しつつ、長距離路線の拡充等、利便性の向上につながる活用を関係機関に働きかけます。また、物産展の開催など就航先都市との連携と交流を進めます。

中心市街地につきましては、地域の活性化にむけ、豊中・岡町地区の現状分析と課題整理を行います。

服部天神駅周辺につきましては、駅とふれあい緑地をつなぐ道路の景観及び歩道の改良整備を推進するとともに、水路敷を活用した歩行者空間の整備を行います。

南部地域につきましては、災害に強い快適な都市空間を形成するため、穂積菰江線や大島町地区主要生活道路の整備を進めるとともに、曾根島江線の整備にむけた調査を進めます。

また、庄内駅と大阪音楽大学をつなぐ道路の景観整備を進めます。

さらに、庄内・豊南町地区の住環境整備計画の見直しを進めます。

産業振興につきましては、「中小企業チャレンジ促進プラン」に基づく取組みを推進するとともに、企業立地の促進を図るため、住工混在の防止にむけた方策や、西部地域における空港周辺の移転補償跡地の有効活用について引き続き検討します。

住宅・建築物の耐震化の促進につきましては、市民への普及啓発や耐震改修補助制度の拡充を行います。

また、利倉橋の架け替えや、千里橋の機能向上・耐震補強を進め、円滑な交通の実現と耐震性の向上を図ります。

雇用・労働につきましては、地方創生推進交付金を活用し、就労の場の拡充に努めます。

環境施策につきましては、新たな「環境基本計画」や「一般廃棄物処理基本計画」等を策定します。

みどりの施策の推進につきましては、新たな「みどりの基本計画」を策定するとともに、自然環境の保全の一環として、「春日町ヒメボタル特別緑地保全地区」の整備を行います。

〔安全で安心して暮らしができるまち〕

高齢者福祉・介護保険につきましては、老人福祉センターを介護予防センターに転換し、介護予防の普及啓発と実践の場を充実します。

また、多様な主体によりサービスが提供される、「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始します。

障害者福祉につきましては、新たな「障害者長期計画」及び「障害福祉計画」を策定し、適切な支援を進めます。

社会福祉につきましては、「地域包括ケアシステム推進基本方針」に基づき、誰もが住み慣れた地域でともに支え合いながら暮らせる取組みを進めます。

健康づくりにつきましては、「メンタルヘルス計画」に基づく取組みを推進するとともに、若者むけのうつ・自殺対策事業を強化します。

病院事業につきましては、より質の高い医療の提供と効率的な病院経営に努めるため、新たな「市立豊中病院運営計画」を策定します。

危機管理につきましては、避難行動要支援者名簿を地域に提供し、避難支援体制の構築と周知啓発を進めます。

安全対策につきましては、通学路を中心に設置を進めている

防犯カメラの運用を開始します。

また、スマートフォンを活用したシステムを導入し、道路の不具合箇所をより手軽に通報できるようにします。

救急・消防につきましては、計画的に消防庁舎や消防団の屯所の改修工事等を実施し、防災拠点としての機能強化を図ります。

また、引き続き広域連携を推進することで、消防資源の効率的な運用に努めます。

上下水道事業につきましては、施設の改築更新・長寿命化・耐震化ならびに浸水対策などに取り組むとともに、財政基盤の強化と効率的な事業運営に努めます。

また、新たな「とよなか水未来構想」を策定し、次世代につながる事業運営をめざします。

消費生活につきましては、「消費者教育推進計画」の策定に取り組めます。また、警察等各関係機関と連携を図り、特殊詐欺被害防止の啓発事業を拡充します。

〔誇りと風格があふれ信頼のコミュニティがあるまち〕

豊中ブランド戦略に基づき、子どもの創造性を育むアート・音楽イベントや首都圏所在企業へのPRを行います。

平成30年度に夏の高校野球が100回大会を迎えるにあたり、高校野球発祥の地記念グッズを本市のふるさと納税の返礼品とします。また、「高校野球発祥の地記念公園」の竣工記念式典を開催するとともに、豊中駅に案内掲示を行います。

さらに、豊中まつりが50回目の節目を迎えることから、その充実に取り組みます。

市民の文化芸術振興をより一層推進するため、「文化芸術推進プラン」の見直し及び基金の創設にむけた検討を行います。

人権施策の推進につきましては、配偶者暴力相談支援センターを設置し、DV被害者支援の充実に努めます。

地域自治の推進につきましては、地域自治組織の形成と自主的な活動、「地域づくり活動計画」の策定を支援します。

〔たゆまない改革を押し進めるまち〕

行政改革につきましては、行財政運営方針に基づき、引き続き施策や事務事業の見直しに取り組み、限られた資源の効果的・効率的な配分を行うことにより、市民サービスの向上を図ります。

財源の確保につきましては、「債権の管理に関する条例」を改正し、重複滞納案件への対応を促進するとともに、市税での

クレジットカード収納開始など納付環境の整備を進め、徴収率の向上を図ります。

情報化推進につきましては、マイナンバーを活用した情報連携を適切に実施していくとともに、モバイル端末の活用などによる市民サービス向上や業務効率化を推進するため、「情報化計画」を策定します。

人材育成につきましては、新たな「人材育成基本方針」を策定し、職員一人ひとりの意欲と能力の向上に取り組むとともに、ワークライフバランスの実現にむけて、長時間労働の是正を図るなど、働き方の見直しを進めます。

以上、極めて概括的ではありますが、基本政策にそって内容をご説明させていただきました。

今日の世界情勢をみますと、社会的な価値観や経済に大きな影響を及ぼす出来事が起こっており、これらは、国のみならず基礎自治体にも及ぶことが予想されます。

このような情勢においては、平和主義、民主主義、基本的人権の尊重という憲法の理念、さらには自治基本条例に掲げる情

報共有、参画、協働の原則にのっとり、市政運営に取り組むことが今まで以上に重要であります。

私は、子どもたちに平和な世の中を引き継ぎながら、誰からも“住んでみたい”、“住み続けたい”とと思っていただける魅力的なまちをめざし、市民生活のさらなる向上にむけ、「人」をはじめとする豊中市のもつ様々な財産を活かしつつ、基本政策の一つひとつに全力で取り組んでまいります。

本日、ご提案いたしました予算案及びその他の諸議案につきましては、関係職員から詳細をご説明申し上げますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。